SBC 東京医療大学は令和元年 9 月 20 日より高等教育修学支援新制度の対象機関です。
（令和元年当時は了徳寺大学）

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 7 条 2 項に基づき、確認申請書を公表します。

2019 年度　確認申請書

様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
健康科学部	理学療法学科	夜・通信	53	52	65	170	13	0
	整復医療・ﾄﾚｰﾅｰ学科	夜・通信		88	117	258	13	0
	看護学科	夜・通信		50	114	217	13	0
		夜・通信						
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ＨＰ　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-412.pdf

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

大学ＨＰhttp://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/rijimeibo_201906.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	弁護士(現職)	2019 年 5 月 15 日～2021 年 5 月 14 日	コンプライアンス推進担当
非常勤	公益財団法人職員(現職)	2017 年 12 月 5 日～2019 年 12 月 4 日	コンプライアンス推進担当
非常勤	高等学校教員(現職)	2017 年 12 月 5 日～2019 年 12 月 4 日	教育の質保障担当
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 学部および学科のディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準を設定し、それに基づいた授業科目を開講している。 授業科目については、総合学習目標を掲げ、それを落とし込む形で、個別学習目標を設定している。授業計画では、1 回目から最終回までの計画を明記している。 また、授業に使う、テキスト、参考文献の紹介を行い、授業における評価方法については、試験・出席の配分について明記し、学生に評価方法を公表をしている。これらは、授業を担当する各教員がシラバスを作成し、大学ホームページからいつでも閲覧できるようになっている。	
授業計画書の公表方法	大学 HPhttp://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-232.pdf
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 本学の単位認定の基準として、「了徳寺大学履修規定」を定め、試験、レポート、実技、実習等により、適正な評価を行い、単位を認定している。 これらの単位認定の基準は、『学生便覧・履修の手引き』に明記し、学生に周知している。また、各科目での試験実施の方法については、大学 HP 上で閲覧できる WEB シラバスに明記し、学生に周知している。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

客観的に、一定期間の履修および学習状況をより明確に把握するためにＧＰＡ制度を利用している。基準を以下の表のとおりに設定し、学期ごとの成績については、学生本人・および保護者へ連絡している。

判定	合格				不合格
成績	90 点以上 100 点未満	80 点以上 90 点未満	70 点以上 80 点未満	60 点以上 70 点未満	60 点未満
成績評価	秀	優	良	可	不可
グレードポイント	4	3	2	1	0

客観的な指標の算出方法の公表方法	大学 HPhttp://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-3412.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

①各学科において、学生支援課が作成した単位認定資料を基に、4 年次生の単位修得状況および卒業試験の結果を確認する。
②①において、確認した結果をもとに学長が卒業を認定する。
③学長は、認定結果を教授会に報告する。
④教授会で承認されたのちに公表する。

卒業の認定に関する方針の公表方法	大学 HPhttp://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-342.pdf

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-410.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-410.pdf
財産目録	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-410.pdf
事業報告書	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-409.pdf
監事による監査報告（書）	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-410.pdf

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/h30hyouka.pdf

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　健康科学部
教育研究上の目的（公表方法 http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/linen2.php）
（概要） 了徳寺大学は、保健医療に関する知識と専門の学術を教授研究するとともに、日本の伝統文化・芸術や人間の本質を探究することにより、総合的な教養を身につけた高度で資質の高い医療専門職の人材を育成し、もって我が国の保険医療の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-342.pdf）
（概要） 了徳寺大学健康科学部は、次の能力・態度を身につけ、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 １、日本の和の心と豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。 ２、他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。 ３、健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。 ４、医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。 ５、質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。 ６、地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-343.pdf）
（概要） 了徳寺大学健康科学部は、ディプロマ・ポリシーに示した能力・態度を身につけるため、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。 １、開学理念・教育理念に示した、和の心と豊かな感性を持った医療人としての人間性を磨くための教養教育科目を、三年次まで配置したカリキュラムとする。 ２、健康レベルに応じた的確な医療を実践することを可能とするため、基礎・臨床医学科目、専門基礎科目を系統的に配し、専門職医療人としての基礎力を確実なものとするカリキュラムとする。 ３、高度な専門職医療人となるための専門科目を、低学年の講義から高学年の実習に至るまで全学年に効果的に配置する。 ４、カリキュラムを構成する各科目の授業には、シラバスに明示したそれぞれの目標を達成するために最も適した、講義、演習、実習などの授業形態を取り入れている。 ５、学修の評価方法はシラバスに明示し、定期試験、レポート、小テスト、

実習評価等からそれぞれの科目の修得目標に応じた適切な方法で評価する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-321.pdf）
（概要） 了徳寺大学の開学理念、教育理念を踏まえて、ディプロマ・ポリシーに示した人材を育てることを目標にしている。その目標を達成するために、学力の三要素を含めた次のような学生を求めている。 １、感性が豊かで多様性を尊重し、他者とコミュニケーションをとることができる人。 ２、入学後の医療人となるための学習に必要な知識、思考力などの基礎学力を有し、主体性を持って学ぼうとする意欲のある人。 ３、医療の分野に興味を持ち、貢献したいという意欲を持っている人。 ４、向上心を持ち、継続的に自己を高める努力ができる人。 入学者選抜のために、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜等、多様な方式を採用している。選抜のための評価には、書類審査(調査書、推薦書等）、学力試験、面接等を組み合わせて総合的に評価している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-112.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	2 人	－					2 人
健康科学部	－	29 人	16 人	16 人	12 人	7 人	80 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
1 人	71 人	72 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/teacher/

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
健康科学部	240 人	299 人	125%	960 人	1140 人	119%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	240 人	299 人	125%	960 人	1140 人	119%	人	人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
	262 人 (100%)	9 人 (3.4%)	251 人 (95.8%)	2 人 (0.8%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	262 人 (100%)	9 人 (3.4%)	251 人 (95.8%)	2 人 (0.8%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
大学院・病院

（備考）

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
ｗｅｂシラバスにおいて、担当者、開講時期、単位数、授業科目の授業方法、授業回毎の内容、評価方法、教科書、参考資料を明記

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
学生便覧・履修手引きに明記

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
健康科学部	理学療法	128 単位	有	44 単位
	整復医療・トレーナー	128 単位	有	50 単位
	看護	128 単位	有	44 単位
		単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/campuslife/setsubi.php

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
健康科学部	理学療法	80 万円	20 万円	80 万円	
	整復医療・トレーナー	80 万円	20 万円	80 万円	
	看護	80 万円	20 万円	80 万円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） ・教員によりアドバイザー（担任）制度の設置 ・各種奨学金制度
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） ・キャリア支援室の設置 ・キャリア支援プログラム（各種セミナー、就職説明会等）の開催
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） ・保健室の設置 ・健康相談 ・スクールカウンセリング室の設置

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/

2020 年度　確認申請書

様式第２号の１－①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
健康科学部	理学療法学科	夜・通信	39	16	131	186	13	0
	整復医療・トレーナー学科	夜・通信		42	185	266	13	0
	看護学科	夜・通信		28	164	231	13	0
		夜・通信						
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-412.pdf

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

大学 HP http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/20200331_yakuinhyogiinmeibo.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	弁護士(現職)	2019 年 5 月 15 日～2021 年 12 月 5 日	コンプライアンス推進担当
非常勤	高等学校教員(現職)	2019 年 5 月 15 日～2021 年 12 月 5 日	教育の質保障担当
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 学部および学科のディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準を設定し、それに基づいた授業科目を開講している。 授業科目については、総合学習目標を掲げ、それを落とし込む形で、個別学習目標を設定している。授業計画では、1 回目から最終回までの計画を明記している。 また、授業に使う、テキスト、参考文献の紹介を行い、授業における評価方法については、試験・レポート提出等の配分について明記し、学生に評価方法を公表している。 授業を担当する各教員が授業計画書（シラバス）を作成し、大学ホームページからいつでも閲覧できるようになっている。	
授業計画書の公表方法	大学 HP https://ryotokuji-u.cloud-syllabus.com/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 本学の単位認定の基準として、「了徳寺大学履修規定」を定め、規定に沿って試験、レポート、実技、実習等を行うことによって適正な評価を行い、単位を認定している。 これらの単位認定の基準は、年度の初めに配布する『学生便覧・履修の手引き』に明記し、学生に周知している。また、各科目での試験実施の方法については、大学 HP 上で閲覧できる WEB シラバスに明記し、学生に周知している。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

客観的に、一定期間の履修および学習状況をより明確に把握するためにＧＰＡ制度を利用している。基準を以下の表のとおりに設定し、学期ごとの成績については、学生本人・および保護者へ連絡している。

判定	合格				不合格
成績	90 点以上 100 点未満	80 点以上 90 点未満	70 点以上 80 点未満	60 点以上 70 点未満	60 点未満
成績評価	秀	優	良	可	不可
グレードポイント	4	3	2	1	0

客観的な指標の 算出方法の公表方法	大学 HP http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-3412.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、ポリシーに合致し、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位の授与を行っている。

卒業における認定は以下の通りである。

① 各学科において、学生支援課が作成した単位認定資料を基に、4 年次生の単位修得状況および卒業試験の結果を確認する。
② ①において、確認した結果をもとに学長が卒業を認定する。
③ 学長は、認定結果を教授会に報告する。

教授会で承認されたのちに公表する。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	大学 HP http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-342.pdf

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-411.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-411.pdf
財産目録	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-410.pdf
事業報告書	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-409.pdf
監事による監査報告（書）	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-410.pdf

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：　了徳寺大学中長期計画　　対象年度：　　）
公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/20200331_chuchokikeikaku.pdf

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/h30hyouka.pdf

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/h30hyouka.pdf

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　健康科学部
教育研究上の目的（公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-111.pdf　）
（概要） 了徳寺大学は、保健医療に関する知識と専門の学術を教授・研究するとともに、日本の伝統文化・芸術や人間の本質を探究することにより、総合的な教養を身につけた高度で資質の高い医療専門職の人材を育成し、我が国の保健医療の向上と福祉の増進井寄与することを目的とする。 （１）健康科学部理学療法学科は、医療の高度化及び超高齢社会に対応した理学療法学を研究開発し実践する専門職を育成する。 （２）健康科学部整復医療・トレーナー学科は、超高齢社会及び国民の健康志向に対応した柔道整復学・アスレティックトレーナー学を研究開発し実践する専門職を育成する。 （３）健康科学部看護学科は、医療の高度化及び超高齢社会に対応した看護学を研究開発し実践する専門職を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-342.pdf　）
（概要） 了徳寺大学健康科学部は、次の能力・態度を身につけ、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 １、日本の和の心と豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。 ２、他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。 ３、健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。 ４、医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。 ５、質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。 ６、地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-343.pdf ）

（概要）
了徳寺大学健康科学部は、ディプロマ・ポリシーに示した能力・態度を身につけるため、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。
１、開学理念・教育理念に示した、和の心と豊かな感性を持った医療人としての人間性を磨くための教養教育科目を、三年次まで配置したカリキュラムとする。
２、健康レベルに応じた的確な医療を実践することを可能とするため、基礎・臨床医学科目、専門基礎科目を系統的に配し、専門職医療人としての基礎力を確実なものとするカリキュラムとする。
３、高度な専門職医療人となるための専門科目を、低学年の講義から高学年の実習に至るまで全学年に効果的に配置する。
４、カリキュラムを構成する各科目の授業には、シラバスに明示したそれぞれの目標を達成するために最も適した、講義、演習、実習などの授業形態を取り入れている。
５、学修の評価方法はシラバスに明示し、定期試験、レポート、小テスト、実習評価等からそれぞれの科目の修得目標に応じた適切な方法で評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学 HP http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-321.pdf ）

（概要）
了徳寺大学の開学理念、教育理念を踏まえて、ディプロマ・ポリシーに示した人材を育てることを目標にしている。その目標を達成するために、学力の三要素を含めた次のような学生を求めている。
１、感性が豊かで多様性を尊重し、他者とコミュニケーションをとることができる人。
２、入学後の医療人となるための学習に必要な知識、思考力などの基礎学力を有し、主体性を持って学ぼうとする意欲のある人。
３、医療の分野に興味を持ち、貢献したいという意欲を持っている人。
４、向上心を持ち、継続的に自己を高める努力ができる人。
入学者選抜のために、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜等、多様な方式を採用している。選抜のための評価には、書類審査(調査書、推薦書等）、学力試験、面接等を組み合わせて総合的に評価している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学 HP http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-112.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	3 人	－					3 人
健康科学部	－	25 人	17 人	17 人	14 人	7 人	80 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
2 人	44 人	46 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：大学HP(http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/johokohyo.pdf)

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員(a)	入学者数(b)	b/a	収容定員(c)	在学生数(d)	d/c	編入学定員	編入学者数
健康科学部	240 人	288 人	120%	960 人	1112 人	116%	0 人	0 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	240 人	288 人	120%	960 人	1112 人	116%	0 人	0 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
健康科学部	274 人 (100%)	16 人 (5.8 %)	250 人 (91.2 %)	8 人 (2.9 %)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	274 人 (100%)	16 人 (5.8 %)	250 人 (91.2 %)	8 人 (2.9 %)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）病院・整骨院

（備考）

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
健康科学部	297 人 (100%)	252 人 (84.8%)	21 人 (7.1 %)	24 人 (8.1 %)	0 人 (0 %)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（備考）					

④ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
学部および学科のディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準を設定し、それに基づいた授業科目を開講している。
授業科目については、総合学習目標を掲げ、それを落とし込む形で、個別学習目標を設定している。授業計画では、1 回目から最終回までの計画を明記している。
また、授業に使う、テキスト、参考文献の紹介を行い、授業における評価方法については、試験・レポート提出等の配分について明記し、学生に評価方法を公表をしている。
授業を担当する各教員が授業計画書（シラバス）を作成し、大学ホームページからいつでも閲覧できるようになっている。

⑤ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
客観的に、一定期間の履修および学習状況をより明確に把握するためにＧＰＡ制度を利用している。基準を以下の表のとおりに設定し、学期ごとの成績については、学生本人・および保護者へ連絡している。これらの基準は、学生に配布している「学生便覧・履修の手引き」に明記されている。

判定	合格				不合格
成績	90 点以上 100 点未満	80 点以上 90 点未満	70 点以上 80 点未満	60 点以上 70 点未満	60 点未満
成績評価	秀	優	良	可	不可
グレードポイント	4	3	2	1	0

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
健康科学部	理学療法学科	128 単位	有	44 単位
	整復医療・トレーナー学科	128 単位	有	50 単位
	看護学科	128 単位	有	44 単位
		単位	有・無	単位

ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）	公表方法：
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）	公表方法：

⑥ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/campuslife/index.php

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
健康科学部	理学療法学科	80 万円	20 万円	80 万円	その他には施設費・実習設備費が含まれる
	整復医療・トレーナー学科	80 万円	20 万円	80 万円	その他には施設費・実習設備費が含まれる
	看護学科	80 万円	20 万円	80 万円	その他には施設費・実習設備費が含まれる
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）
・教員によるアドバイザー（担任）制度を置き、授業の出席、日ごろの学修、生活状況を把握し必要に応じたアドバイス・指導を行っている。
・各種奨学金制度や、緊急時の災害等特別給付金制度を設け、学生が経済的困窮に陥らないようサポートを行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）
・キャリア支援室を設置し、就職・進学に向けての情報を提供している。
・キャリア支援プログラム(各種セミナー、就職説明会等)を開催している。
・履歴書の書き方指導等学生個人に合わせた指導を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）
・保健室を設置し、病気や外相の応急処置、保健指導、健康相談、医療機関の情報提供や紹介を行っている。
・スクールカウンセリング室を設置し、相談員が心的援助を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/johokohyo.php

2021年度　確認申請書

様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
健康科学部	理学療法学科	夜・通信	26	10	89	125	13	0
	整復医療・トレーナー学科	夜・通信		27	126	179	13	0
	看護学科	夜・通信		16	115	157	13	0
		夜・通信						
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-412.pdf

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

大学 HP http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/20200331_yakuinhyogiinmeibo.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	弁護士(現職)	2019 年 5 月 15 日～2021 年 12 月 5 日	コンプライアンス推進担当
非常勤	高等学校教員(現職)	2019 年 5 月 15 日～2021 年 12 月 5 日	教育の質保障担当
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 学部および学科のディプロマ・ポリシーに沿うように学則で単位の授与を定め、単位認定基準、進級基準、卒業認定基準を設定・周知し、それに基づいた授業科目を開講している。 授業科目については、総合学習目標を掲げ、それを落とし込む形で、個別学習目標を設定している。授業計画では、1 回目から最終回までの計画を明記している。 また、授業に使う、テキスト、参考文献の紹介を行い、授業における評価方法については、試験・レポート提出等の配分について明記し、学生に評価方法を公表している。 授業を担当する各教員が授業計画書（シラバス）を作成し、大学ホームページからいつでも閲覧できるようになっている。	
授業計画書の公表方法	大学 HP https://ryotokuji-u.cloud-syllabus.com/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 本学の単位認定の基準として、「了徳寺大学履修規定」を定め、規定に沿って試験、レポート、実技、実習等を行うことによって適正な評価を行い、単位を認定している。 これらの単位認定の基準は、年度の初めに配布する『学生便覧・履修の手引き』に明記し、学生に周知している。また、各科目での試験実施の方法については、大学 HP 上で閲覧できる WEB シラバスに明記し、学生に周知している。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

客観的に、一定期間の履修および学習状況をより明確に把握するためにＧＰＡ制度を利用している。基準を以下の表のとおりに履修規定に定め、年度の初めに配布する『学生便覧・履修の手引き』に明記し、学生に周知している。また前後期ごとの成績・GPA については学生本人および保護者へ通知し、成績不振者に対しては学生担任が面接を行い指導している。

判定	合格				不合格
成績	90 点以上 100 点未満	80 点以上 90 点未満	70 点以上 80 点未満	60 点以上 70 点未満	60 点未満
成績評価	秀	優	良	可	不可
グレードポイント	4	3	2	1	0

客観的な指標の 算出方法の公表方法	大学 HP http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-3412.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、ポリシーに合致し、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位の授与を行っている。

卒業における認定は学則の規定に基づき以下の手順で行っている。

① 各学科において、学生支援課が作成した単位認定資料を基に、4 年次生の単位修得状況および卒業試験の結果を確認する。
② 教務を担当する委員会において①の結果を確認する。
③ ②において確認した結果を教授会で承認する。
④ 教授会で承認された結果を学長が認定する。

のちに公表する。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	大学 HP http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-342.pdf

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-411.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-411.pdf
財産目録	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-410.pdf
事業報告書	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-409.pdf
監事による監査報告（書）	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-410.pdf

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）	
公表方法：	
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）	
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/h30hyouka.pdf

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/h30hyouka.pdf

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　健康科学部
教育研究上の目的（公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-111.pdf　）
（概要） 了徳寺大学は、保健医療に関する知識と専門の学術を教授・研究するとともに、日本の伝統文化・芸術や人間の本質を探究することにより、総合的な教養を身につけた高度で資質の高い医療専門職の人材を育成し、我が国の保健医療の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。 （１）健康科学部理学療法学科は、医療の高度化及び超高齢社会に対応した理学療法学を研究開発し実践する専門職を育成する。 （２）健康科学部整復医療・トレーナー学科は、超高齢社会及び国民の健康志向に対応した柔道整復学・アスレティックトレーナー学を研究開発し実践する専門職を育成する。 （３）健康科学部看護学科は、医療の高度化及び超高齢社会に対応した看護学を研究開発し実践する専門職を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo342.pdf ）
（概要） 了徳寺大学健康科学部は、次の能力・態度を身につけ、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 １、日本の和の心と豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。 ２、他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。 ３、健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。 ４、医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。 ５、質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。 ６、地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-343.pdf ）
（概要） 了徳寺大学健康科学部は、ディプロマ・ポリシーに示した能力・態度を身につけるため、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。 １、開学理念・教育理念に示した、和の心と豊かな感性を持った医療人としての人間性を磨くための教養教育科目を、三年次まで配置したカリキュ

ラムとする。 ２、健康レベルに応じた的確な医療を実践することを可能とするため、基礎・臨床医学科目、専門基礎科目を系統的に配し、専門職医療人としての基礎力を確実なものとするカリキュラムとする。 ３、高度な専門職医療人となるための専門科目を、低学年の講義から高学年の実習に至るまで全学年に効果的に配置する。 ４、カリキュラムを構成する各科目の授業には、シラバスに明示したそれぞれの目標を達成するために最も適した、講義、演習、実習などの授業形態を取り入れている。 ５、学修の評価方法はシラバスに明示し、定期試験、レポート、小テスト、実習評価等からそれぞれの科目の修得目標に応じた適切な方法で評価する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学 HP http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-321.pdf ）
（概要） 了徳寺大学の開学理念、教育理念を踏まえて、ディプロマ・ポリシーに示した人材を育てることを目標にしている。その目標を達成するために、学力の三要素を含めた次のような学生を求めている。 １、感性が豊かで多様性を尊重し、他者とコミュニケーションをとることができる人。 ２、入学後の医療人となるための学習に必要な知識、思考力などの基礎学力を有し、主体性を持って学ぼうとする意欲のある人。 ３、医療の分野に興味を持ち、貢献したいという意欲を持っている人。 ４、向上心を持ち、継続的に自己を高める努力ができる人。 入学者選抜のために、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜等、多様な方式を採用している。選抜のための評価には、書類審査(調査書、推薦書等）、学力試験、面接等を組み合わせて総合的に評価している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：：大学 HP http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-112.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	2 人	－					2 人
健康科学部	－	27 人	16 人	18 人	12 人	5 人	78 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
1 人	44 人	45 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
	240 人	284 人	118.3%	960 人	1120 人	116%	人	0 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	240 人	284 人	118.3%	960 人	1120 人	116%	人	0 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
健康科学部	246 人 (100%)	9 人 (3.7%)	221 人 (89.8%)	16 人 (6.5%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	246 人 (100%)	9 人 (3.7%)	221 人 (89.8%)	16 人 (6.5%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
健康科学部	285 人 (100%)	231 人 (81.1%)	29 人 (10.2%)	24 人 (8.4%)	1 人 (0.3%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	285 人 (100%)	231 人 (81.1%)	29 人 (10.2%)	24 人 (8.4%)	1 人 (0.3%)
（備考）その他 1 人は死亡					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
学部および学科のディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準を設定し、それに基づいた授業科目を開講している。
授業科目については、総合学習目標を掲げ、それを落とし込む形で、個別学習目標を設定している。授業計画では、1 回目から最終回までの計画を明記している。
また、授業に使う、テキスト、参考文献の紹介を行い、授業における評価方法については、試験・レポート提出等の配分について明記し、学生に評価方法を公表をしている。
授業を担当する各教員が授業計画書（シラバス）を作成し、大学ホームページからいつでも閲覧できるようになっている。

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
客観的に、一定期間の履修および学習状況をより明確に把握するためにＧＰＡ制度を利用している。基準を以下の表のとおりに設定し、学期ごとの成績については、学生本人・および保護者へ連絡している。これらの基準は、学生に配布している「学生便覧・履修の手引き」に明記されている。

判定	合格				不合格
成績	90 点以上 100 点未満	80 点以上 90 点未満	70 点以上 80 点未満	60 点以上 70 点未満	60 点未満
成績評価	秀	優	良	可	不可
グレードポイント	4	3	2	1	0

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
健康科学部	理学療法学科	128 単位	有	44 単位
	整復医療・トレーナー学科	128 単位	有	50 単位
	看護学科	128 単位	有	44 単位

ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）	公表方法：
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）	公表方法：

⑦ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/campuslife/index.php

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
健康科学部	理学療法学科	80 万円	20 万円	80 万円	その他には施設費・実習設備費が含まれる
	整復医療・トレーナー学科	80 万円	20 万円	80 万円	その他には施設費・実習設備費が含まれる
	看護学科	80 万円	20 万円	80 万円	その他には施設費・実習設備費が含まれる
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）
・教員によるアドバイザー（担任）制度を置き、授業の出席、日ごろの学修、生活状況を把握し必要に応じたアドバイス・指導を行っている。
・卒業年次対象の学生に国家試験対策等の定期的な補習を行う学修支援を行っている。
・各種資格取得試験に関する補習を定期的に行っている。
・各種奨学金制度や、緊急時の災害等特別給付金制度を設け、学生が経済的困窮に陥らないようサポートを行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）
・キャリア支援室を設置し、就職・進学に向けての情報を提供している。
・キャリア支援プログラム(各種セミナー、就職説明会等)を開催している。
・履歴書の書き方指導等学生個人に合わせた指導を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）
・保健室を設置し、病気や外相の応急処置、保健指導、健康相談、医療機関の情報提供や紹介を行っている。
・スクールカウンセリング室を設置し、相談員が心的援助を行っている。
・入学時に UPI 検査を実施し、心身の健康チェックをガイダンス時に行いそうした人たちの早期発見・早期治療ができるよう体制を整えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/johokohyo.php

2022年度　確認申請書

様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
健康科学部	理学療法学科	夜・通信	30	13	68	111	13	0
	整復医療・トレーナー学科	夜・通信		32	113	175	13	0
	看護学科	夜・通信		22	134	186	13	0
		夜・通信						
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-412.pdf

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/20200331_yakuinhyogiinmeibo.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	弁護士(現職)	2021 年 12 月 5 日～2023 年 12 月 4 日	コンプライアンス推進担当
非常勤	高等学校教員(現職)	2021 年 12 月 5 日～2023 年 12 月 4 日	教育の質保障担当
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 学部および学科のディプロマ・ポリシーに沿うように学則で単位の授与を定め、単位認定基準、進級基準、卒業認定基準を設定・周知し、それに基づいた授業科目を開講している。 授業科目については、総合学習目標を掲げ、それを落とし込む形で、個別学習目標を設定している。授業計画では、1 回目から最終回までの計画を明記している。 また、授業に使う、テキスト、参考文献の紹介を行い、授業における評価方法については、試験・レポート提出等の配分について明記し、学生に評価方法を公表している。 これら授業計画書（シラバス）については、授業を担当する各教員が作成し、学生への周知を行っている。授業計画書は大学ホームページからいつでも閲覧できるようになっている。	
授業計画書の公表方法	大学 HP https://ryotokuji-u.cloud-syllabus.com/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

本学の単位認定の基準として、「了徳寺大学履修規定」を定め、授業の主欠席と公欠（第 4 条）、成績の判定（第 11 条）、定期試験（第 12 条）、追試験（第 13 条）、再試験（第 14 条）および受験資格（第 15 条）を規定している。

規定に沿った試験の方法は、筆記試験のほか、レポート、作品の提出、実技、実習等がある。それぞれの試験について適正な評価を行い、単位を認定している。

これらの単位認定の基準は、年度の初めに配布する『学生便覧・履修の手引き』に明記し、学生に周知している。また、各科目での試験実施の方法については、大学 HP 上で閲覧できる WEB シラバスに明記し、学生に周知している。

尚、学生が本学入亜区前に他大学や短期大学等で履修した単位については、単位認定制度として学則第 18 条および「了徳寺大学入学前の既修得単位の認定に関する規定」に定めている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

客観的に、一定期間の履修および学修状況をより明確に把握するためにＧＰＡによる厳格な成績評価を行っている。GPA の算出方法は（科目の単位数）×（その科目で得たグレードポイントの和）÷履修登録した単位数の合計で算出している。グレードポイントの算出方法は以下の表のとおりとしている。

ＧＰＡについては年度の初めに配布する『学生便覧・履修の手引き』に明記し、学生に周知している。また半期ごと（前期・後期）の成績・ＧＰＡについて学生本人および保護者へ通知し、成績不振者に対しては学科長および学生支援アドバイザーが面接を行い指導している。

判定	合格				不合格
成績	90 点以上 100 点未満	80 点以上 90 点未満	70 点以上 80 点未満	60 点以上 70 点未満	60 点未満
成績評価	秀	優	良	可	不可
グレードポイント	4	3	2	1	0

客観的な指標の 算出方法の公表方法	大学 HP http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-3412.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、ポリシーに合致し、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位の授与を行っている。 卒業における認定は学則の規定に基づき以下の手順で行っている。 ① 各学科において、学生支援課が作成した単位認定資料をもとに、4年次生の単位修得状況および卒業試験の結果を確認する。 ② 教務を担当する委員会において①の結果を確認する。 ③ ②において確認した結果を教授会・学長の承認を得て公表。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	大学HP http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-342.pdf

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-411.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-411.pdf
財産目録	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-410.pdf
事業報告書	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-409.pdf
監事による監査報告（書）	http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-410.pdf

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）	
公表方法：	
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）	
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/h30hyouka.pdf

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　健康科学部
教育研究上の目的（公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-111.pdf　）
（概要） 了徳寺大学は、保健医療に関する知識と専門の学術を教授・研究するとともに、日本の伝統文化・芸術や人間の本質を探究することにより、総合的な教養を身につけた高度で資質の高い医療専門職の人材を育成し、我が国の保健医療の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。 （１）健康科学部理学療法学科は、医療の高度化及び超高齢社会に対応した理学療法学を研究開発し実践する専門職を育成する。 （２）健康科学部整復医療・トレーナー学科は、超高齢社会及び国民の健康志向に対応した柔道整復学・アスレティックトレーナー学を研究開発し実践する専門職を育成する。 （３）健康科学部看護学科は、医療の高度化及び超高齢社会に対応した看護学を研究開発し実践する専門職を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo342.pdf ）
（概要） 了徳寺大学健康科学部は、次の能力・態度を身につけ、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 １、日本の和の心と豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。 ２、他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。 ３、健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。 ４、医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。 ５、質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。 ６、地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-343.pdf ）

（概要）
了徳寺大学健康科学部は、ディプロマ・ポリシーに示した能力・態度を身につけるため、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。
１、開学理念・教育理念に示した、和の心と豊かな感性を持った医療人としての人間性を磨くための教養教育科目を、三年次まで配置したカリキュラムとする。
２、健康レベルに応じた的確な医療を実践することを可能とするため、基礎・臨床医学科目、専門基礎科目を系統的に配し、専門職医療人としての基礎力を確実なものとするカリキュラムとする。
３、高度な専門職医療人となるための専門科目を、低学年の講義から高学年の実習に至るまで全学年に効果的に配置する。
４、カリキュラムを構成する各科目の授業には、シラバスに明示したそれぞれの目標を達成するために最も適した、講義、演習、実習などの授業形態を取り入れている。
５、学修の評価方法はシラバスに明示し、定期試験、レポート、小テスト、実習評価等からそれぞれの科目の修得目標に応じた適切な方法で評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-321.pdf　）

（概要）
了徳寺大学の開学理念、教育理念を踏まえて、ディプロマ・ポリシーに示した人材を育てることを目標にしている。その目標を達成するために、学力の三要素を含めた次のような学生を求めている。
１、感性が豊かで多様性を尊重し、他者とコミュニケーションをとることができる人。
２、医療人となるための学習に必要な知識、思考力などの基礎学力を有し、主体性を持って学ぼうとする意欲のある人。
３、医療の分野に興味を持ち、貢献したいという意欲を持っている人。
４、向上心を持ち、継続的に自己を高める努力ができる人。
入学者選抜のために、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜等、多様な方式を採用している。選抜のための評価には、書類審査(調査書、推薦書等）、学力試験、面接等を組み合わせて総合的に評価している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学 HP http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/files/dpinfo-112.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	2 人	－					人
健康科学部	－	31 人	15 人	14 人	14 人	3 人	77 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
2 人	75 人	77 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
健康科学部	240 人	283 人	118%	960 人	1143 人	119%	0 人	0 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	240 人	283 人	118%	960 人	1143 人	119%	0 人	0 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
健康科学部	220 人 (100%)	21 人 (9.5%)	189 人 (85.9%)	10 人 (4.5%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	220 人 (100%)	21 人 (9.5%)	189 人 (85.9%)	10 人 (4.5%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
健康科学部	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（備考）					

④ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
学部および学科のディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準を設定し、それに基づいた授業科目を開講している。
授業科目については、総合学習目標を掲げ、それを落とし込む形で、個別学習目標を設定している。授業計画では、1回目から最終回までの計画を明記している。
また、授業に使う、テキスト、参考文献の紹介を行い、授業における評価方法については、試験・レポート提出等の配分について明記し、学生に評価方法を公表をしている。
授業を担当する各教員が授業計画書（シラバス）を作成し、大学ホームページからいつでも閲覧できるようになっている。

⑤ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
客観的に、一定期間の履修および学習状況をより明確に把握するためにＧＰＡ制度を利用している。基準を以下の表のとおりに設定し、学期ごとの成績については、学生本人・および保護者へ連絡している。これらの基準は、学生に配布している「学生便覧・履修の手引き」に明記されている。

判定	合格				不合格
成績	90 点以上 100 点未満	80 点以上 90 点未満	70 点以上 80 点未満	60 点以上 70 点未満	60 点未満
成績評価	秀	優	良	可	不可
グレードポイント	4	3	2	1	0

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
健康科学部	理学療法学科	128 単位	有	44 単位
	整復医療・トレーナー学科	128 単位	有	50 単位

	看護学科	128 単位	有	50 単位
		単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑥ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/campuslife/index.php

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
健康科学部	理学療法学科	80 万円	20 万円	80 万円	その他は施設費・実習設備維持費
	整復医療・トレーナー学科	80 万円	20 万円	80 万円	その他は施設費・実習設備維持費
	看護学科	80 万円	20 万円	80 万円	その他は施設費・実習設備維持費
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） ・教員によるアドバイザー（担任）制度を置き、授業の出席、日ごろの学修、生活状況を把握し必要に応じたアドバイス・指導を行っている。 ・全学年の学生を対象に国家試験対策等の定期的な補習を行う学修支援を行っている。 ・各種資格取得試験に関する補習を定期的に行っている。 ・各種奨学金制度や、緊急時の災害等特別給付金制度を設け、学生が経済的困窮に陥らないようサポートを行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） ・キャリア支援室を設置し、就職・進学に向けての情報を提供している。 ・キャリア支援プログラム(各種セミナー、就職説明会等)を開催している。 ・履歴書の書き方指導等学生個人に合わせた指導を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） ・保健室を設置し、病気や外相の応急処置、保健指導、健康相談、医療機関の情報提供や紹介を行っている。 ・スクールカウンセリング室を設置し、相談員が心的援助を行っている。 ・入学時に UPI 検査を実施し、心身の健康チェックをガイダンス時に行いそうした人たちの早期発見・早期治療ができるよう体制を整えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学 HP　http://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/johokohyo.php

2023年度　確認申請書

様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
健康科学部	理学療法学科	夜・通信	39	12	84	135	13	
	整復医療・トレーナー学科	夜・通信		26	112	177	13	
	看護学科	夜・通信		14	124	177	13	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/pdf/info4-1-12.pdf

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/pdf/dpinfo-162.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	JR 東京総合病院病院長	2025.12.4	コンプライアンス推進担当
非常勤	スカイネットアカデミー株式会社 代表取締役社長	2025.12.4	コンプライアンス推進担当
非常勤	ネスグローバル株式会社 代表取締役社長	2025.12.4	コンプライアンス推進担当
非常勤	佐野総合法律事務所 弁護士	2025.12.4	コンプライアンス推進担当
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 学部及び学科のディプロマ・ポリシーに沿うように学則で単位の授与を定め、単位認定基準、進級基準、卒業認定基準を設定・周知し、それに基づいた授業科目を開講している。 授業科目については、総合学習目標を掲げ、それを落とし込む形で個別の学習目標を設定している。授業計画では１回目から最終回までの計画を明記している。 また授業に使うテキスト、参考文献の紹介を行い、授業のおける評価方法については試験・レポート提出等の配分について明記し、学生に評価方法を公表している。 これら授業計画書（シラバス）については、授業を担当する各教員が作成し、学生に周知を行っている。授業計画書は大学ホームページからいつでも閲覧できるようになっている。	
授業計画書の公表方法	https://risyu.ryotokuji-u.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 本学の単位認定の基準として「了徳寺大学履修規定」を定め、授業の出欠席と公欠（第 4 条）、成績の判定（第 15 条）、定期試験（第 16 条）、追試験（第 17 条）、再試験（第 18 条）及び受験資格（第 19 条）を規定している。規程に沿った試験の方法は、筆記試験のほかレポート、作品の提出、実技、実習等がある。それぞれの試験について適正な評価に基づいて単位認定を行っている。 これらの単位認定の基準は年度のはじめに配付する「学生便覧・履修の手引き」に明記し学生に周知している。また各科目での試験実施の方法については、大学ホームページで閲覧できるＷＥＢシラバスに明記し学生に周知している。 尚、学生が本学入学前に他大学等で履修した単位については単位認定制度として学則 18 条及び「大学入学前の既修得単位の認定に関する規定」に定めている。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

客観的に、一定期間の履修及び学修状況をより明確に把握するためにＧＰＡによる厳格な成績評価を行っている。
ＧＰＡの算出方法は（科目の単位数）×（その科目で得たグレートポイントの和）÷（履修登録した単位数の合計）で算出している。
グレートポイントの算出方法は以下の表の通りとしている。

判定	合格				不合格
成績	90 点以上 100 点未満	80 点以上 90 点未満	70 点以上 80 点未満	60 点以上 70 点未満	60 点未満
成績評価	秀	優	良	可	不可
グレードポイント	4	3	2	1	0

ＧＰＡについては年度のはじめに配付する「学生便覧・履修の手引き」に明記し学生に周知している。また半期ごと（前期・後期）の成績・ＧＰＡについて学生本人及び保護者へ通知し、成績不良者に対しては学科長及び学生支援アドバイザーが面接を行い指導している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.ryotokuji- u.ac.jp/about/pdf/info3-4-2.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、ポリシーに合致し、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し学位の授与を行っている。
卒業における認定は学則の樹手に基づき以下の手順で行っている。
①各学科において学務課が作成した単位認定資料を基に 4 年次生の単位修得状況を確認する
②教務を担当する委員会において①の結果を確認する
③②において確認した結果を教授会・学長の承認を得て公表

卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.ryotokuji- u.ac.jp/about/pdf/info1-1-3.pdf

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	了徳寺大学
設置者名	学校法人　了徳寺大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/pdf/info4-1-10.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/pdf/info4-1-10.pdf
財産目録	https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/pdf/info4-1-10.pdf
事業報告書	https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/pdf/info4-1-9.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/pdf/info4-1-10.pdf

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）	
公表方法：	
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）	
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法： https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/pdf/h30hyouka.pdf

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　　健康科学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/pdf/info1-1-1.pdf）
（概要） 了徳寺大学は、保健医療に関する知識と専門の学術を教授・研究するとともに、人間の本質を探究することにより、総合的な教養を身につけた高度で資質の高い医療専門職の人材を育成し、我が国の保健医療の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。 （１）健康科学部理学療法学科は、医療の高度化及び超高齢社会に対応した理学療法学を研究開発し実践する専門職を育成する。 （２）健康科学部整復医療・トレーナー学科は、超高齢社会及び国民の健康志向に対応した柔道整復学・アスレティックトレーナー学を研究開発し実践する専門職を育成する。 （３）健康科学部看護学科は、医療の高度化及び超高齢社会に対応した看護学を研究開発し実践する専門職を育成する。
卒業の認定に関する方針 （公表方法：https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/pdf/info1-1-3.pdf）
（概要） 了徳寺大学健康科学部は、次の能力・態度を身につけ、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 １、豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。 ２、他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。 ３、健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。 ４、医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。 ５、質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。 ６、地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/pdf/info1-1-4.pdf）
（概要） 　了徳寺大学健康科学部は、ディプロマ・ポリシーに示した能力・態度を身につけるため、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。 １、豊かな感性を持った医療人としての人間性を磨くための教養教育科目を、三年次まで配置したカリキュラムとする。 ２、健康レベルに応じた的確な医療を実践することを可能とするため、基

礎・臨床医学科目、専門基礎科目を系統的に配し、専門職医療人としての基礎力を確実なものとするカリキュラムとする。 ３、高度な専門職医療人となるための専門科目を、低学年の講義から高学年の実習に至るまで全学年に効果的に配置する。 ４、カリキュラムを構成する各科目の授業には、シラバスに明示したそれぞれの目標を達成するために最も適した、講義、演習、実習などの授業形態を取り入れている。 ５、学修の評価方法はシラバスに明示し、定期試験、レポート、小テスト、実習評価等からそれぞれの科目の修得目標に応じた適切な方法で評価する。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/pdf/info1-1-5.pdf）
（概要） ディプロマ・ポリシーに示した人材を育てることを目標にしている。その目標を達成するために、学力の三要素を含めた次のような学生を求めている。 １、感性が豊かで多様性を尊重し、他者とコミュニケーションをとることができる人。 ２、医療人となるための学習に必要な知識、思考力などの基礎学力を有し、主体性を持って学ぼうとする意欲のある人。 ３、医療の分野に興味を持ち、貢献したいという意欲を持っている人。 ４、向上心を持ち、継続的に自己を高める努力ができる人。 入学者選抜のために、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜等、多様な方式を採用している。選抜のための評価には、書類審査(調査書、推薦書等）、学力試験、面接等を組み合わせて総合的に評価している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/pdf/info1-1-2.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	1 人	－					1 人
健康科学部	－	29 人	15 人	15 人	15 人	4 人	78 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
1 人	77 人	78 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
健康科学部	240 人	256 人	106%	960 人	1,093 人	113%	0 人	0 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	240 人	256 人	106%	960 人	1,093 人	113%	0 人	0 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
健康科学部	261 人 (100%)	2 人 (1.0%)	207 人 (79.3%)	52 人 (19.9%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	261 人 (100%)	2 人 (1.0%)	207 人 (79.3%)	52 人 (19.9%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
学部および学科のディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準を設定し、それに基づいた授業科目を開講している。
授業科目については、総合学習目標を掲げ、それを落とし込む形で、個別学習目標を設定している。授業計画では、１回目から最終回までの計画を明記している。
また、授業に使う、テキスト、参考文献の紹介を行い、授業における評価方法については、試験・レポート提出等の配分について明記し、学生に評価方法を公表している。
授業を担当する各教員が授業計画書（シラバス）を作成し、大学ホームページからいつでも閲覧できるようになっている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
客観的に、一定期間の履修および学習状況をより明確に把握するためにＧＰＡ制度を利用している。基準を以下の表のとおりに設定し、学期ごとの成績については、学生本人・および保護者へ連絡している。これらの基準は、学生に配布している「学生便覧・履修の手引き」に明記されている。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
健康科学部	理学療法学科	128 単位	有	44 単位
	整復医療・トレーナー学科	128 単位	有	50 単位
	看護学科	128 単位	有	50 単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.ryotokuji-u.ac.jp/campuslife/facility.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
健康科学部	理学療法学科	80 万円	20 万円	80 万円	
	整復医療・トレーナー学科	80 万円	20 万円	80 万円	
	看護学科	80 万円	20 万円	80 万円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） ・教員によるアドバイザー（担任）制度を置き、授業の出席、日ごろの学修、生活状況を把握し必要に応じたアドバイス・指導を行っている。 ・全学年の学生を対象に国家試験対策等の定期的な補習を行う学修支援を行っている。 ・各種資格取得試験に関する補習を定期的に行っている。 ・各種奨学金制度や、緊急時の災害等特別給付金制度を設け、学生が経済的困窮に陥らないようサポートを行っている。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要） ・キャリア支援室を設置し、就職・進学に向けての情報を提供している。 ・キャリア支援プログラム(各種セミナー、就職説明会等)を開催している。 ・履歴書の書き方指導等学生個人に合わせた指導を行っている。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） ・保健室を設置し、病気や外相の応急処置、保健指導、健康相談、医療機関の情報提供や紹介を行っている。 ・スクールカウンセリング室を設置し、相談員が心的援助を行っている。 ・入学時に UPI 検査を実施し、心身の健康チェックをガイダンス時に行いそうした人たちの早期発見・早期治療ができるよう体制を整えている。 ・24 時間対応の学部相談窓口を設置している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.ryotokuji-u.ac.jp/about/information.html

2024年度　確認申請書

【様式】第２号の１～４―①
大学・短期大学・高等専門学校

（注）様式第２号の１－①
※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

（注）様式第２号の２－①
※国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

（注）様式第２号の４－①
※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

（申請書を作成する際には、１頁目を削除すること）

様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	ＳＢＣ東京医療大学
設置者名	学校法人　ＳＢＣ東京医療大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
健康科学部	理学療法学科	夜・通信	26	16	97	139	13	
	整復医療・トレーナー学科	夜・通信		27	168	221	13	
	看護学科	夜・通信		11	176	213	13	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	ＳＢＣ東京医療大学
設置者名	学校法人　ＳＢＣ東京医療大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	JR 東京総合病院病院長	2025.12.4	コンプライアンス推進担当
非常勤	スカイネットアカデミー株式会社 代表取締役社長	2025.12.4	コンプライアンス推進担当
非常勤	ネスグローバル株式会社 代表取締役社長	2025.12.4	コンプライアンス推進担当
非常勤	佐野総合法律事務所 弁護士	2025.12.4	コンプライアンス推進担当
非常勤	**株式会社シーオーメディカル社外取締役**	2025.12.4	コンプライアンス推進担当
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ＳＢＣ東京医療大学
設置者名	学校法人　ＳＢＣ東京医療大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

学部及び学科のディプロマ・ポリシーに沿うように学則で単位の授与を定め、単位認定基準、進級基準、卒業認定基準を設定・周知し、それに基づいた授業科目を開講している。
授業科目については、総合学習目標を掲げ、それを落とし込む形で個別の学習目標を設定している。授業計画では１回目から最終回までの計画を明記している。
また授業に使うテキスト、参考文献の紹介を行い、授業のおける評価方法については試験・レポート提出等の配分について明記し、学生に評価方法を公表している。
これら授業計画書（シラバス）については、授業を担当する各教員が作成し、学生に周知を行っている。授業計画書は大学ホームページからいつでも閲覧できるようになっている。

授業計画書の公表方法	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

本学の単位認定の基準として「ＳＢＣ東京医療大学履修規定」を定め、授業の出欠席と公欠（第 4 条）、成績の判定（第 15 条）、定期試験（第 16 条）、追試験（第 17 条）、再試験（第 18 条）及び受験資格（第 19 条）を規定している。
規程に沿った試験の方法は、筆記試験のほかレポート、作品の提出、実技、実習等がある。それぞれの試験について適正な評価に基づいて単位認定を行っている。
これらの単位認定の基準は入学時に配付する「学生便覧・履修の手引き」に明記し学生に周知している。また各科目での試験実施の方法については、大学ホームページで閲覧できるＷＥＢシラバスに明記し学生に周知している。
尚、学生が本学入学前に他大学等で履修した単位については単位認定制度として学則 18 条及び「入学前の既修得単位の認定に関する規定」に定めている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

客観的に、一定期間の履修及び学修状況をより明確に把握するためにＧＰＡによる厳格な成績評価を行っている。
ＧＰＡの算出方法は（科目の単位数）×（その科目で得たグレートポイントの和）÷（履修登録した単位数の合計）で算出している。
グレートポイントの算出方法は以下の表の通りとしている。

判定	合格				不合格
成績	90 点以上 100 点未満	80 点以上 90 点未満	70 点以上 80 点未満	60 点以上 70 点未満	60 点未満
成績評価	秀	優	良	可	不可
グレードポイント	4	3	2	1	0

ＧＰＡについては年度のはじめに配付する「学生便覧・履修の手引き」に明記し学生に周知している。また半期ごと（前期・後期）の成績・ＧＰＡについて学生本人及び保護者へ通知し、成績不良者に対しては学科長及び学生支援アドバイザーが面接を行い指導している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、ポリシーに合致し、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し学位の授与を行っている。
卒業における認定は学則の規程に基づき以下の手順で行っている。
①各学科において学務課が作成した単位認定資料を基に 4 年次生の単位修得状況を確認する
②教務を担当する委員会において①の結果を確認する
③②において確認した結果を教授会・学長の承認を得て公表

卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	ＳＢＣ東京医療大学
設置者名	学校法人　ＳＢＣ東京医療大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/
財産目録	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/
事業報告書	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　健康科学部
教育研究上の目的（公表方法：https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/）
（概要） （１）健康科学部理学療法学科は、医療の高度化及び超高齢社会に対応した理学療法学を研究開発し実践する専門職を育成する。 （２）健康科学部整復医療・トレーナー学科は、超高齢社会及び国民の健康志向に対応した柔道整復学・アスレティックトレーナー学を研究開発し実践する専門職を育成する。 （３）健康科学部看護学科は、医療の高度化及び超高齢社会に対応した看護学を研究開発し実践する専門職を育成する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/）
（概要） ＳＢＣ東京医療大学健康科学部は、次の能力・態度を身につけ、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 １、豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。 ２、他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。 ３、健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。 ４、医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。 ５、質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。 ６、地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/）
（概要） 　ＳＢＣ東京医療大学健康科学部は、ディプロマ・ポリシーに示した能力・態度を身につけるため、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。 １、豊かな感性を持った医療人としての人間性を磨くための教養教育科目を、三年次まで配置したカリキュラムとする。 ２、健康レベルに応じた的確な医療を実践することを可能とするため、基礎・臨床医学科目、専門基礎科目を系統的に配し、専門職医療人としての基礎力を確実なものとするカリキュラムとする。 ３、高度な専門職医療人となるための専門科目を、低学年の講義から高学年の実習に至るまで全学年に効果的に配置する。 ４、カリキュラムを構成する各科目の授業には、シラバスに明示したそれぞれの目標を達成するために最も適した、講義、演習、実習などの授業形態を取り入れている。 ５、学修の評価方法はシラバスに明示し、定期試験、レポート、小テスト、実習評価等からそれぞれの科目の修得目標に応じた適切な方法で評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/）
（概要） ディプロマ・ポリシーに示した人材を育てることを目標にしている。その目標を達成するために、学力の三要素を含めた次のような学生を求めている。 １、感性が豊かで多様性を尊重し、他者とコミュニケーションをとることができる人。 ２、入学後の医療人となるための学習に必要な知識、思考力などの基礎学力を有し、主体性を持って学ぼうとする意欲のある人。 ３、医療の分野に興味を持ち、貢献したいという意欲を持っている人。 ４、向上心を持ち、継続的に自己を高める努力ができる人。 入学者選抜のために、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜等、多様な方式を採用している。選抜のための評価には、書類審査（調査書、推薦書等）、学力試験、面接等を組み合わせて総合的に評価している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	1 人	－					1 人
健康科学部	－	27 人	17 人	16 人	14 人	5 人	79 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
1 人	79 人	80 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
健康科学部	240 人	273 人	113%	960 人	1,038 人	108%	0 人	0 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	240 人	273 人	113%	960 人	1,038 人	108%	0 人	0 人

（備考）

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
健康科学部	263 人 (100%)	14 人 (5%)	219 人 (83%)	30 人 (11%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	263 人 (100%)	14 人 (5%)	219 人 (83%)	30 人 (11%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
学部および学科のディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準を設定し、それに基づいた授業科目を開講している。
授業科目については、総合学習目標を掲げ、それを落とし込む形で、個別学習目標を設定している。授業計画では、1回目から最終回までの計画を明記している。
また、授業に使う、テキスト、参考文献の紹介を行い、授業における評価方法については、試験・レポート提出等の配分について明記し、学生に評価方法を公表している。
授業を担当する各教員が授業計画書（シラバス）を作成し、大学ホームページからいつでも閲覧できるようになっている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
客観的に、一定期間の履修および学習状況をより明確に把握するためにＧＰＡ制度を利用している。基準を以下の表のとおりに設定し、学期ごとの成績については、学生本人・および保護者へ連絡している。これらの基準は、学生に配布している「学生便覧・履修の手引き」に明記されている。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
健康科学部	理学療法学科	128 単位	有・無	単位
	整復医療・トレーナー学科	128 単位	有・無	単位
	看護学科	128 単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.sbctmu.ac.jp/campus/facility/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
健康科学部	理学療法学科	70 万円	20 万円	70 万円	1 年生
	整復医療・トレーナー学科	70 万円	20 万円	70 万円	1 年生
	看護学科	70 万円	20 万円	70 万円	1 年生
健康科学部	理学療法学科	80 万円	20 万円	80 万円	2 年生以上
	整復医療・トレーナー学科	80 万円	20 万円	80 万円	2 年生以上
	看護学科	80 万円	20 万円	80 万円	2 年生以上

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） ・教員によるアドバイザー（担任）制度を置き、授業の出席、日ごろの学修、生活状況を把握し必要に応じたアドバイス・指導を行っている。 ・全学年の学生を対象に国家試験対策等の定期的な補習を行う学修支援を行っている。 ・各種資格取得試験に関する補習を定期的に行っている。 ・各種奨学金制度や、緊急時の災害等特別給付金制度を設け、学生が経済的困窮に陥らないようサポートを行っている。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要） ・キャリア支援室を設置し、就職・進学に向けての情報を提供している。 ・キャリア支援プログラム(各種セミナー、就職説明会等)を開催している。 ・履歴書の書き方指導等学生個人に合わせた指導を行っている。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） ・保健室を設置し、病気や外相の応急処置、保健指導、健康相談、医療機関の情報提供や紹介を行っている。 ・学生相談室を設置し、相談員が心的援助を行っている。 ・24 時間対応の学部相談窓口を設置している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

2025年度　確認申請書

様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	ＳＢＣ東京医療大学
設置者名	学校法人　ＳＢＣ東京医療大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
健康科学部	理学療法学科	夜・通信	28	25	100	153	13	
	整復医療・トレーナー学科	夜・通信			184	237	13	
	看護学科	夜・通信			191	244	13	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	ＳＢＣ東京医療大学	
設置者名	学校法人　ＳＢＣ東京医療大学	

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	スカイネット アカデミー株式会社 代表取締役社長	2025. 12. 4	コンプライアンス 推進担当
非常勤	ネスグローバル 株式会社 代表取締役社長	2025. 12. 4	コンプライアンス 推進担当
非常勤	佐野総合法律事務所 弁護士	2025. 12. 4	コンプライアンス 推進担当
非常勤	株式会社シーオー メディカル社外取締役	2025. 12. 4	コンプライアンス 推進担当
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ＳＢＣ東京医療大学
設置者名	学校法人　ＳＢＣ東京医療大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 学部及び学科のディプロマ・ポリシーに沿うように学則で単位の授与を定め、単位認定基準、進級基準、卒業認定基準を設定・周知し、それに基づいた授業科目を開講している。 授業科目については、総合学習目標を掲げ、それを落とし込む形で個別の学習目標を設定している。授業計画では１回目から最終回までの計画を明記している。 また授業に使うテキスト、参考文献の紹介を行い、授業のおける評価方法については試験・レポート提出等の配分について明記し、学生に評価方法を公表している。 これら授業計画書（シラバス）については、授業を担当する各教員が作成し、学生に周知を行っている。授業計画書は大学ホームページからいつでも閲覧できるようになっている。	
授業計画書の公表方法	https://risyu.sbctmu.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 本学の単位認定の基準として「ＳＢＣ東京医療大学履修規程」を定め、授業の出欠席と公欠（第 4 条）、成績の判定（第 15 条）、定期試験（第 16 条）、追試験（第 17 条）、再試験（第 18 条）及び受験資格（第 19 条）を規定している。 規程に沿った試験の方法は、筆記試験のほかレポート、作品の提出、実技、実習等がある。それぞれの試験について適正な評価に基づいて単位認定を行っている。 これらの単位認定の基準は入学時に配付する「学生便覧・履修の手引き」に明記し学生に周知している。また各科目での試験実施の方法については、大学ホームページで閲覧できるＷＥＢシラバスに明記し学生に周知している。 尚、学生が本学入学前に他大学等で履修した単位については単位認定制度として学則 18 条及び「入学前の既修得単位の認定に関する規程」に定めている。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

客観的に、一定期間の履修及び学修状況をより明確に把握するためにＧＰＡによる厳格な成績評価を行っている。
ＧＰＡの算出方法は（(科目の単位数）×（その科目で得たグレートポイント）の合計）÷（履修登録した単位数の合計）で算出している。
グレートポイントの算出方法は以下の表の通りとしている。

判定	合格				不合格
成績	90 点以上 100 点未満	80 点以上 90 点未満	70 点以上 80 点未満	60 点以上 70 点未満	60 点未満
成績評価	秀	優	良	可	不可
グレードポイント	4	3	2	1	0

ＧＰＡについては年度のはじめに配付する「学生便覧・履修の手引き」に明記し学生に周知している。また半期ごと（前期・後期）の成績・ＧＰＡについて学生本人及び保護者へ通知し、成績不良者に対しては学科長及び学生支援アドバイザーが面接を行い指導している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、ポリシーに合致し、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し学位の授与を行っている。
卒業における認定は学則の規程に基づき以下の手順で行っている。
①各学科において学務課が作成した単位認定資料を基に 4 年次生の単位修得状況を確認する
②教務を担当する委員会において①の結果を確認する
③②において確認した結果を教授会・学長の承認を得て公表

卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	ＳＢＣ東京医療大学
設置者名	学校法人　ＳＢＣ東京医療大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/
財産目録	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/
事業報告書	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　健康科学部
教育研究上の目的（公表方法：　https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/）
（概要） （１）健康科学部理学療法学科は、医療の高度化及び超高齢社会に対応した理学療法学を研究開発し実践する専門職を育成する。 （２）健康科学部整復医療・トレーナー学科は、超高齢社会及び国民の健康志向に対応した柔道整復学・アスレティックトレーナー学を研究開発し実践する専門職を育成する。 （３）健康科学部看護学科は、医療の高度化及び超高齢社会に対応した看護学を研究開発し実践する専門職を育成する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/）
（概要） ＳＢＣ東京医療大学健康科学部は、次の能力・態度を身につけ、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 １、豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。 ２、他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。 ３、健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。 ４、医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。 ５、質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。 ６、地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/）
（概要） 　ＳＢＣ東京医療大学健康科学部は、ディプロマ・ポリシーに示した能力・態度を身につけるため、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。 １、豊かな感性を持った医療人としての人間性を磨くための教養教育科目を、三年次まで配置したカリキュラムとする。 ２、健康レベルに応じた的確な医療を実践することを可能とするため、基礎・臨床医学科目、専門基礎科目を系統的に配し、専門職医療人としての基礎力を確実なものとするカリキュラムとする。 ３、高度な専門職医療人となるための専門科目を、低学年の講義から高学年の実習に至るまで全学年に効果的に配置する。 ４、カリキュラムを構成する各科目の授業には、シラバスに明示したそれぞれの目標を達成するために最も適した、講義、演習、実習などの授業形態を取り入れている。 ５、学修の評価方法はシラバスに明示し、定期試験、レポート、小テスト、実習評価等からそれぞれの科目の修得目標に応じた適切な方法で評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/）
（概要） ディプロマ・ポリシーに示した人材を育てることを目標にしている。その目標を達成するために、学力の三要素を含めた次のような学生を求めている。 １、感性が豊かで多様性を尊重し、他者とコミュニケーションをとることができる人。 ２、入学後の医療人となるための学習に必要な知識、思考力などの基礎学力を有し、主体性を持って学ぼうとする意欲のある人。 ３、医療の分野に興味を持ち、貢献したいという意欲を持っている人。 ４、向上心を持ち、継続的に自己を高める努力ができる人。 入学者選抜のために、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜等、多様な方式を採用している。選抜のための評価には、書類審査（調査書、推薦書等）、学力試験、面接等を組み合わせて総合的に評価している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	1 人	－					1 人
健康科学部	－	30 人	20 人	15 人	14 人	4 人	84 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	44 人	44 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https://www.sbctmu.ac.jp/about/faculty-members/

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
健康科学部	240 人	280 人	116%	960 人	1,035 人	107.8%	0 人	0 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	240 人	280 人	116%	960 人	1,035 人	107.8%	0 人	0 人

（備考）

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
健康科学部	230 人 (100%)	1 人 (0 %)	198 人 (86 %)	31 人 (13 %)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	230 人 (100%)	1 人 (0 %)	198 人 (86 %)	31 人 (13 %)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
学部および学科のディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準を設定し、それに基づいた授業科目を開講している。
授業科目については、総合学習目標を掲げ、それを落とし込む形で、個別学習目標を設定している。授業計画では、1回目から最終回までの計画を明記している。
また、授業に使う、テキスト、参考文献の紹介を行い、授業における評価方法については、試験・レポート提出等の配分について明記し、学生に評価方法を公表している。
授業を担当する各教員が授業計画書（シラバス）を作成し、大学ホームページからいつでも閲覧できるようになっている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
客観的に、一定期間の履修および学習状況をより明確に把握するためにＧＰＡ制度を利用している。基準を以下の表のとおりに設定し、学期ごとの成績については、学生本人・および保護者へ連絡している。これらの基準は、学生に配布している「学生便覧・履修の手引」に明記されている。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
健康科学部	理学療法学科	128　単位	有・無	単位
	整復医療・トレーナー学科	128　単位	有・無	単位
	看護学科	128　単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.sbctmu.ac.jp/campus/facility/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
健康科学部	理学療法学科	70 万円	20 万円	70 万円	1・2 年生
	整復医療・トレーナー学科	70 万円	20 万円	70 万円	1・2 年生
	看護学科	70 万円	20 万円	70 万円	1・2 年生
健康科学部	理学療法学科	80 万円	20 万円	80 万円	3 年生以上
	整復医療・トレーナー学科	80 万円	20 万円	80 万円	3 年生以上
	看護学科	80 万円	20 万円	80 万円	3 年生以上

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） ・教員によるアドバイザー（担任）制度を置き、授業の出席、日ごろの学修、生活状況を把握し必要に応じたアドバイス・指導を行っている。 ・全学年の学生を対象に国家試験対策等の定期的な補習を行う学修支援を行っている。 ・各種資格取得試験に関する補習を定期的に行っている。 ・各種奨学金制度や、緊急時の災害等特別給付金制度を設け、学生が経済的困窮に陥らないようサポートを行っている。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要） ・キャリア支援室を設置し、就職・進学に向けての情報を提供している。 ・キャリア支援プログラム(各種セミナー、就職説明会等)を開催している。 ・履歴書の書き方指導等学生個人に合わせた指導を行っている。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） ・保健室を設置し、病気や外傷の応急処置、保健指導、健康相談、医療機関の情報提供や紹介を行っている。 ・学生相談室を設置し、相談員が心的援助を行っている。 ・24 時間対応の外部相談窓口を設置している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.sbctmu.ac.jp/about/disclosure/

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F112310102574
学校名（○○大学 等）	ＳＢＣ東京医療大学
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人ＳＢＣ東京医療大学

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		101人	98人	107人
内訳	第Ⅰ区分	51人	54人	
	（うち多子世帯）	（　　人）	（　　人）	
	第Ⅱ区分	29人	20人	
	（うち多子世帯）	（　　人）	（　　人）	
	第Ⅲ区分	16人	18人	
	（うち多子世帯）	（　　人）	（　　人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－
合計（年間）				107人

（備考）

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	－	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	－	人	人
計	－	人	人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	－	人	人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	0人	人	人
ＧＰＡ等が下位４分の１	－	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	－	人	人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。